

## 思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま



要課題です。厳しい財政の中、「経営の鍵」となるものは、「公共施設のあり方」と「行政サービスのあり方」を両輪とした取組みを進めることです。

東洋大学の根本祐二教授は、全域、校区、住区の3階層マネジメントを唱え「校区にある学校は避難所を兼ねていることが多く、残すべき施設で、学校単独ではなく校区内の他の施設が持っていた機能を果たせるように多機能化する。住区にある集会所などは自治体が所有せず、例えば、民間施設を利用する。その際、必要に応じて費用を補助する。」と述べています。まさに、本市の公共施設の方向性が示されています。今後とも市民の皆さんと、ともに知恵を出し合い、貴重な財産である公共施設を賢く使っていききたいと考えています。

最後に、国の地方創生政策を受け、高浜版総合戦略と人口ビジョンを策定しますが、その基本的な考え方は、自分たちで「住んでよかった」「いつまでも住み続けたい」まちにしていこうという、自治基本条例の理念を実現することです。何か新しいことに取り組むのではなく、第6次高浜市総合計画を着実に具体化していくことで地方創生につなげていきます。

## 平成27年度

### I みんなで考え みんなで汗かき みんなのまちを創ろう

- ❖ 「自治基本条例」施行後5年間の成果や課題の振り返り、条文の見直しの必要性などについて検証
- ❖ 「まちづくり協議会条例」に基づいた各まちづくり協議会の認定手続き
- ❖ 地域に対する交付金制度のあり方について検討
- ❖ 国のまち・ひと・しごと創生長期ビジョンや総合戦略を踏まえて、第6次高浜市総合計画と整合性を図りながら、「高浜版総合戦略」を策定
- ❖ 市民とのワークショップを交えて「しあわせづくり計画（第3次地域福祉計画）」を策定
- ❖ 道路橋梁などのインフラ資産を含めた「公共施設等総合管理計画」を検討
- ❖ 「公共施設のあり方計画」の進捗状況の公表および「公共施設白書」の更新
- ❖ 市役所本庁舎の整備
- ❖ 「高浜小学校整備検討方針」に基づいた整備手法の決定および事業者提案の募集

### II 学び合い 力を合わせて 豊かな未来を育もう

- ❖ 「生涯学習基本構想」を包含する総合的な取組みとして「タカハマ！まるごと宝箱」を本格実施（語り合い・学び合いの会の開催、その内容を小冊子化）
- ❖ 市民映画「タカハマ物語2」の制作を通じて、こども・若者の成長を応援
- ❖ 女性の社会進出や保育ニーズの多様化などの課題に対する方針である「子ども・子育て支援事業計画」に基づいた子育て支援策の推進
- ❖ 居場所充実事業として4月から児童クラブ対象を「小学校に就学している児童」に拡大
- ❖ 年間を通じた子どもの居場所確保のため、児童センターの休館日の変更や雨天時、長期休暇時にも対応できる体制づくりを整備
- ❖ 12年間の学びや育ちをつなげるため、学校・家庭・地域が子どもの年齢に応じた生活習慣や学習習慣といった「めざす子ども像」を共有・推進